

南区 区域まちづくり事業 効果検証シート

事業名称		実施主体			
区民と協働した多職種連携健康づくり推進事業		南保健センター			
事業目的	事業内容	活動指標	H30	R1	R2
区民と南保健センターの多職種(保健師・管理栄養士・歯科衛生士等)が協働して多面的な健康づくりの取り組みを実施することで、ソーシャルキャピタル(地域コミュニティ組織等の社会資本)を豊かにし、地域力を高めるとともに区民の健康レベルの向上につなげる。	健康づくり推進委員会や関係機関と南保健センターが健康に関する課題等について情報交換や共有を行い、区民の健康づくりを推進するため、がん検診・健康診査の受診勧奨や健康づくりを啓発する。	地域への啓発回数	163回 (5018人)	254回 (8342人)	117回 (2260人)
		関係機関との連携	30か所	57か所	21か所
①妥当性		②協働の視点		③インパクト	
○	区民との協働による健康づくりの推進は重要である。	◎	推進委員会(区民)との協働に加え、学校や企業とも協働して取り組んでいる。	○	コロナ禍で南区ふれあいまつりが中止となり、SNSを用いた情報発信を強化。 Twitter: 7動画、累計1759回再生。 Youtube: 1動画、累計1042回再生。
⑤自立発展性		総合評価			
○	区民との協働により、健康に関する情報の交換や共有を行うことにより、区民自らが自発的に健康づくりを推進していくことができる。	○	区民協働で健康課題の共有や啓発等を実施することにより、健康づくりに関する情報の届きにくかった区民にも伝えることができた。また、コロナ禍で対面での事業は制限されたものの、SNS等も活用しながら作成した啓発物を用いて、予防啓発の機会が希薄で健康に関心の低い青壮年層にも幅広く情報を発信できた。		
今後の方向性(課題、改善提案等)					
拡充 継続 見直し 廃止	感染症の状況もふまえて方法・手段等については検討する必要がある。				